

2014年 12月8日	日仏社会学会ニュース	No. 40 日仏社会学会事務局
----------------	------------	---------------------

<記事>

1. 2014年度日仏社会学会総会から

- (1) 総会における決議事項 (2) 会務報告 (3) 2013年度会計報告ならびに2015年度予算
(4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介

2. 会員業績の年報掲載について

3. 『日仏社会学会年報』(第25号) への投稿論文等の募集について

4. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

5. 新入会員の紹介

6. 会費納入のお願い

1. 2014年度日仏社会学会総会から

10月25日(土)に関西学院大学において、日仏社会学会総会が開催されました。

(1) 総会における決議事項

1) 2013年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)

2) 2015年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

(2) 2013年度会務報告(2013年4月～2014年3月)

6月4日(火):『日仏社会学会ニュース』第37号を発行

7月28日(土):研究活動委員会(2013年度から2015年度大会の企画について)

:理事会(奨励賞、年報24号の発行について、25号の企画、年報バックナンバーの電子化について)

:研究例会 報告者:大前 敦巳(上越教育大学)

タイトル:「フランス教育社会学における実証主義の批判的継承」

司会:佐藤典子(千葉経済大学)(於:日仏会館)

10月24日(木)講演会「贈与から見た社会」(日仏会館フランス事務所主催、日仏社会学会協力)

会長荻野昌弘がディスカッサントとして参加

10月26日(土):2013年度日仏社会学会大会・総会開催(於:東洋大学)

理事会(会計報告、会務報告、新年度事業計画、予算案、年報の電子公開)

総会(会計報告、会務報告、新年度事業計画、予算案、年報の電子公開)

11月27日(水)『日仏社会学会ニュース』第38号を発行

11月30日(土)『日仏社会学会年報』第24号発行

2014年

1月10日(金)ナタリー・エニック(フランス国立科学研究センター)氏による講演会「芸術家の誕生—フランス古典主義時代の画家と社会」(於:日仏会館)(日仏社会学会後援)を開催

1月30日(木)日仏社会学会座談会(荻野昌弘、三上剛史、北垣徹)

(3) 2013年度会計報告ならびに2015年度予算

2013年度会計<2013年4月1日－2014年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	442 307	印刷費	159 550
入会金	4 000	通信費	22 840
年会費	439 000	事務用品費	3 469
受取利息	24	交通費補助	60 000
雑収入	10 000	雑費	37 979
		バイト代	18 000
		ホームページ	20 940
		繰越金	572 553
合 計	895 331	合 計	895 331

2015年度予算案<2015年4月1日－2016年3月31日>

(単位：円)			
収入の部		支出の部	
繰越金	400 000	印刷費	160 000
年会費	420 000	通信費	40 000
雑収入	20 000	事務用品費	10 000
		交通費補助	70 000
		雑費	40 000
		アルバイト代	25 000
		ホームページ	20 000
		予備費	475 000
合 計	840 000	合 計	840 000

注記：繰越金額は2014年度末までの入金状況および出金状況を勘案した見込みです。

2015年度事業計画

- 1) 2015年度日仏社会学会大会開催
- 2) 『日仏社会学会年報』26号の発行
- 3) 研究例会の開催
- 4) その他

(4) 日仏社会学会奨励賞受賞者の紹介

金瑛氏（京都大学大学院博士後期課程）が日仏社会学会奨励賞（論文の部）を受賞されました。授賞対象論文は、「記憶における時間意識—アルヴァックスの記憶観をめぐって—」『日仏社会学会年報』（第24号）です。なお、懇親会において授与式が行われました。

2. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学会年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2015年3月31日（必着）

2014年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで（論文、報告書、翻訳）。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。

（文字ポイントは10.5、フォントはMS明朝とCentury）

（単著の本）著者名，出版年，『タイトル—サブタイトル』出版社名。

（共著の本）ファーストオーサー氏名・共著者名，出版年，『タイトル』出版社名。

（編著論文）著者名，出版年，「論文タイトル」著者名編『本のタイトル』出版社名。

（雑誌論文）著者名，出版年，「論文タイトル」『雑誌名』巻（号）：論文のページ（例315-505）。

（翻訳書・翻訳論文）原典書誌情報（＝翻訳の出版年，訳者名訳『訳書のタイトル』出版社名。）

送付の方法：Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp（岡山県立大学、近藤理恵宛／電話番号：0866-94-2192）

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①日仏社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会の比較に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

3. 『日仏社会学会年報』（第26号）への投稿論文等の募集について

2015年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第26号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、書評に関しては、随時受付しております。

(1) 原稿締め切り：2015年3月31日

(2) 発行日：2015年11月30日

(3) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部
近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話 0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

(4) 投稿規定

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。

2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。

3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度

（図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語）

- 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。また、5語以内の日本語及び、仏文または英文のキーワードを要約の後に添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名(英文付記)と所属、著者の連絡先(住所、電話、ファックス、Eメールアドレス)を書いた用紙1枚も送付のこと。
- 8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。
- 9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。
 - ・本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
 - ・著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
 - ・論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。
- 10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。
- 11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。
- 12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

4. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

◇本賞の対象◇

- (1) 候補者の資格：本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書(翻訳書を含む)に関しては18年以内の者とする。
- (2) 対象となる業績：原則として当該年度(2015年)の前年(2014年1月1日～12月31日)において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補作推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- (3) 推薦の締め切り：2015年3月31日(必着)で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してください。(※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、生年月日、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。)

日仏社会学会事務局：〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

- (4) 受賞者の選考：当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- (5) 公表・表彰：『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される(賞状と記念品)。

5. 新入会員の紹介

松野充貴（名古屋市立大学大学院博士後期課程）、左地亮子（日本学術振興会／広島大学）、木村至聖（甲南女子大学）、楠木敦（北星学園大学）

6. 会費納入のお願い

2014年度会費を納入下さいますようお願いいたします。2011、2012、2013年度会費未納の方は、これも併せてご納入下さい。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にて宜しくお願いいたします。

日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

<http://www.socio-nichifutsu.com/>

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会